

双葉町氷川自治会

双葉町氷川自治会は、南は板橋一の石神井川の桜の名所、北は環七通りに面した1,483世帯の準商業地域と住宅地で成り立っております。

自治会の名称の由来は「氷川神社」の宮元から始まっております。

氷川神社との連携は、自治会の事業の一つとして「新年祝賀の集い」「歳末特別警戒」の拠点等で神社を利用させていただいております。

当自治会の大きな自慢の一つは、秋の神社祭礼の際に35年前に当時の町会役員7名による「手作り山車」です。祭りには子ども神輿と山車が町を練り歩きます。

更に町の美化活動については、氷川児童遊園の花壇の手入れがあります。「双葉四季の会」と名付けて毎年春秋の花の植え替え、毎月自治会の皆さんで花の手入れや清掃活動を行っています。その他年間行事は数多くありますが、今後も会員の皆様のご協力による安心・安全に暮らせる明るい町づくりのために、意義のある活動を積極的に進めてまいります。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています